

職員採用案内 (一般職員)

独立行政法人 家畜改良センター

「日本の畜産 改良と技術で育てます」

家畜改良センターは、畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを目的とした、1本所10牧場1支場からなる、全国組織の独立行政法人です。



NLBC

業務について

「小さなタネから大きなウシまで」

家畜改良センターの業務は多岐にわたります。

●家畜の改良増殖の推進

- ・畜産物の需要の変化に応じた優良な種畜・種さん等の生産・供給
- ・遺伝的能力評価の実施
- ・種畜検査の実施
- ・家畜の遺伝資源の保存



宮崎牧場で造成したデュロック種系統豚「ユメサクラエース」



岩手牧場で生産した種雄牛「NLBC ベリクレース オーソン ET」

●飼料作物種苗の生産・供給と検査

- ・日本の多様な気候に適した飼料作物種子及び種苗の生産・供給
- ・国際的な種子品種証明制度に基づく飼料作物種子の検査・証明



コンバインによる種子の収穫



異種子検査

●畜産新技術の開発・実用化

- ・有用形質関連遺伝子等の解析
- ・食肉の食味に関する評価手法の開発
- ・繁殖関連技術の開発・実用化
- ・飼養管理関連技術の開発・実用化

有色の在来種等



iiCcee

劣性白



iiCceE

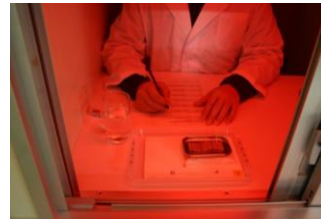


iiCcee



iiCceE

羽色関連遺伝子型と羽色の関連性の調査



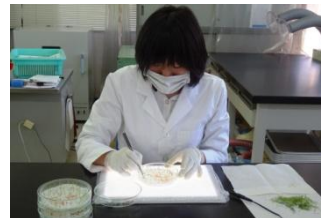
食肉の官能評価

●牛の個体識別業務 ●法律に基づく検査

- ・全国の牛のトレーサビリティに必要な個体識別番号や出生異動履歴などの情報の管理、公表
- ・家畜改良増殖法に基づく立入検査
- ・種苗法に基づく指定種苗の集取・検査



耳標に印字された個体識別番号



指定種苗の発芽率検査

●技術の普及指導 ●外部支援

- ・開発された技術の生産現場への普及のための研修会の実施、海外技術協力
- ・国内における家畜伝染性疾病や自然災害発生時等の外部支援・協力



飼料自給率向上のための研修会



粗飼料の支援
(東日本大震災)

先輩の声

家畜改良センターが行う様々な業務には、多くの職員が関わっています。

各分野で活躍する若手職員を紹介します。

加藤 知寿子
長野支場 種苗業務課
平成27年度採用



学ぶ機会に恵まれています。

私は採用後、長野支場に配属され、現在は飼料作物種子の増殖業務を行っています。

確実な採種を実施できるよう、採種圃場や採種施設の見回りを行い、「生育状況は良好か」、「病気や虫の発生はないか」、「異型はないか」等を確認しています。また収穫適期調査や播種間隔調査といった調査研究等もっており、国内優良品種の安定供給・普及のために日々奮闘しています。

学生時代は反芻家畜の栄養生理について学びました。飼料作物に関しては全くの初心者で不安でしたが、周りの職員の方からは丁寧に尋ねた以上のことを教えて頂き、日々向上しながら楽しく仕事をしています。また女性職員も比較的多く、明るい雰囲気です。

家畜改良センターは多くのことを学ぶ機会に恵まれています。これから一緒に働けることを楽しみにしています。

後藤 由希
企画調整部 管理課
平成24年度採用



日々勉強ですが、楽しく仕事をしています。

広大な土地で多数の家畜を飼養しながら、改良や調査研究といった公共性の高い業務を行う機関ということが、家畜改良センターを志望した理由でした。

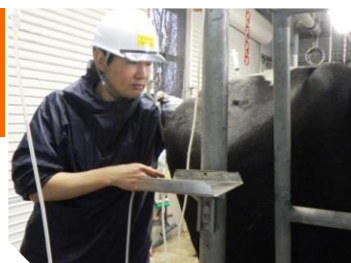
採用後は宮崎牧場に配属され、黒毛和種の繁殖技術担当になりました。人工授精はおろか、牛を扱ったこともほとんどありませんでしたが、職場の方々に恵まれ、飼養管理の基本から繁殖に関わる技術まで親切丁寧に教えて頂きました。

現在は福島県にある本所で、牛の繁殖技術に関わる調査研究を行っています。事務作業もありますが、牛舎や実験室にいる時間が多いです。宮崎牧場での経験を生かしつつ、新たな分野にも携わり、日々勉強ですが、楽しく仕事をしています。

家畜改良センターの扱う畜種、業務は多種多様のため、不安を感じる人もいるかと思いますが、全く心配ないです。必要な技術、知識は研修や仕事を通して身につけられます。

興味がある方は是非見学に来て下さい。

治田 悟 (獣医職)
岩手牧場 業務課
平成27年度採用



研修は知見を深める貴重な機会です。

様々な畜種を扱っていることと、受精卵移植や家畜の診療といった業務内容に関心があったことが、家畜改良センターを志望した理由でした。

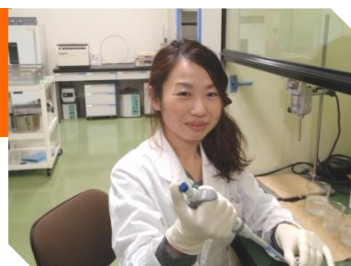
採用後は岩手牧場に配属され、乳用牛（ホルスタイン種）の改良増殖のための繁殖業務と、診療を担当しています。

日々の仕事をする上で役立っているのが、研修で学んだ知識、築いた人間関係です。

私は採用されてからの1年間で、4つの研修を受けることができました。特に中央畜産技術研修会の「酪農（基礎）」は行政の視点と農場の視点を知ることができ、大変参考になりました。全国の牧場はもちろん、他の機関から多くの人が参加する研修は、異なる地域や職種の方から意見を聞くことができ、知見を深め、人間関係を広げる貴重な機会です。

広大な土地で、のびのびと日本の畜産を支えていきましょう。

小平 貴都子
企画調整部 改良技術課
平成19年度採用



子供を育てながら働くことに理解のある職場です。

新規採用時の配属先は青森県にある奥羽牧場でした。こちらでは種牛係として、肉用牛の子牛や育成牛を担当していました。現在は福島県の本所で、肉質評価チームとして豚肉の理化学分析や官能評価を担当しています。

私には現在1歳の子供がいます。家畜改良センターでは各休暇・休業制度が充実しており、私も「産前産後休暇」を経て、「育児休業」を希望したとおり、約1年3ヶ月取得しました。

育児休業中も、職場の状況を知らせていただくなど配慮いただき、復帰しやすかったと感謝しています。復帰後は「育児時間」制度を活用し、終業時間より1時間早く帰宅しています。これからも子供の成長を見守りながら、仕事と育児を両立させていきたいです。

家畜改良センターは女性職員も多く、子供を育てながら働くことに理解のある職場です。一緒に働けることを楽しみにしています。

採用について

●技術職

- ①農林水産省が実施する獣医系技術職員採用試験(総合職(院卒)相当)
 - ②農林水産省が実施する畜産系技術職員採用試験(一般職(大卒)相当)
 - ③人事院が実施する国家公務員採用一般職試験(農学)
- ①②③いずれかの合格者で、家畜改良センターへの採用を希望する者の中から採用

●事務職

- ・家畜改良センターが実施する試験により採用
(平成28年度は6月23、24日に採用試験を実施)
- ※採用後は本人の適性や希望等を考慮し、家畜改良センター本所、全国の牧場・支場の部署に配属されます。配属後は全国範囲の異動があります。

●教育・研修制度

- 職員の能力、技術向上を支援するため、様々な研修への参加機会を用意しています。
- ・採用後は新規採用職員研修に参加し、家畜改良センター職員としての基礎的知識を身につけます。
- ・その後、技術職員は農林水産省が主催する中央畜産技術研修会、家畜改良センターが主催する飼養管理・人工授精等の講習会に参加し、多岐にわたる専門的な知識や技術を習得します。事務職員は国の機関、家畜改良センター等が主催する研修・説明会に参加し、職務遂行のための知識を深めます。

研修・待遇について

●給与

- ・初任給
獣医職 207,900円
一般職 176,700円(大学新卒)
154,300円(短大新卒)
144,600円(高校新卒)
(経験年数により加算)
- ・諸手当：通勤、扶養、住居、
超過勤務手当等
- ・賞与：年2回(6月及び12月)

●社会保険・福利厚生

- ・健康保険・年金加入(農林水産省共済組合加入)、雇用保険、労働者災害補償保険等
- ・農林水産省共済組合連合会が運営する各種の福祉事業を利用できます。

●勤務時間

- ・1日7時間45分(週38時間45分)
- ・フレックスタイム制勤務あり

●休日・休暇・休業制度

- ・土曜日、日曜日、祝日及び年末年始
- ・年次休暇、病気休暇、
特別休暇(夏季、産前産後、忌引等)
- ・育児・介護休業等

●住居

- ・各職場の近隣にある宿舎に入居できる場合があります。
- ・民間アパートを借りた場合、家賃に応じた住居手当が支給されます。

最新情報・詳細はホームページをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/>

[見学申込み・お問合せ先]

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地

独立行政法人 家畜改良センター 総務部人事課 TEL: 0248-25-2759(直通)

